

警察署協議会会議録

筑紫野警察署協議会

開催年月日時	令和7年11月19日 午後10時30分 から 令和7年11月19日 午後11時30分 まで	
開催場所	筑紫野警察署3階会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下7名
	警察署	署長、副署長、刑事管理官、総務第一課長、総務第二課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶(要旨)】		
<ul style="list-style-type: none">○ 前回は本部見学を行ったため、署で全幹部とお会いするのは久しぶりであるが、どうぞよろしくお願ひする。○ 昨今の政治情勢は、新たな女性総理誕生により、経済対策や、自衛隊の給与見直しなど、色々とスピードィーに物事が進んでいくように見える。○ 様々な課題はあるが、国民としては、日々安全・安心に過ごせることを一番に望んでいる。○ 安全・安心に向け、警察が日々行う様々な活動に、協議会も協力していきたい。○ 本日の協議会の結果を持ち帰り発信することで、地域の安全に活かしていきたいと思う。		
【署長挨拶(要旨)】		
<ul style="list-style-type: none">○ 公私ともにお忙しい中のご出席、また平素からの警察署の活動に対する多大なるご理解・ご協力に感謝申し上げる。○ 本日の協議会がより安全・安心なまちづくりに向けた実りある意見交換の場となるようよろしくお願ひ申し上げる。		
【報告事項等】		
1 管内治安情勢（署長）		
(1) 犯罪情勢（令和7年10月末） 刑法犯認知件数は、934件（前年比+11件）と微増傾向 特色は、乗り物盗が約3分の1を占め、昨年と比較しても大きく増加 職務質問や発生多発地区における重点パトロールを実施中		

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議事概要	
(2)	交通事故情勢（令和7年10月末） 人身事故発生件数は、520件（前年比－32件） 特色は、高齢者が関係する事故の割合が約3分の1 当署では事故抑止と交通安全意識の高揚を目的に、交通指導取締りや高齢者に対する安全講習に取組中
(3)	災害関連 地震・水害による被害の発生なし 今後の発生に備え、危険個所の把握や防災訓練など自治体や地域住民との緊密な連携を引き続き継続
2	特殊詐欺情勢（生活安全課長） (1) 県下発生状況（令和7年9月末） 認知件数972件（前年比+450件）被害額約39.0億円（前年比+約27.5億円） 全体の約6割が国際電話からの架電のため、国際電話の着信休止措置、LINEの勧誘遮断措置に対する取組を強化中 (2) 「ニセ警察詐欺の仮想体験ツール」実施
3	警備課業務報告（警備課長） (1) 第一機動隊見学について (2) 本県警における警備部の説明 (3) 太宰府天満宮初詣雑踏警備について
【質疑応答】	
<p>○ 委員から、「高齢者の事故は、運転手と歩行者どちらが多いか。」との質疑があり、交通課長から「歩行者が多い。傾向としては、道路横断中、運転手から見て右側からくる歩行者に対し、ピラーが死角となることを原因とした事故が多い。」と回答があった。</p> <p>○ 委員から「バイクの走る音がうるさいと感じることが多くなったので対策をしてほしい」との要望があり、署長から「朝倉へ抜ける地区で通報や相談は受理しており、対策はしているが解決していないことから、今後も本部と連携強化のうえ、取締りや対策を継続する。」との回答があった。</p> <p>○ 委員から「住民から、民泊宿泊者のマナーがよくないとの意見が上がっている。警察に何らかの対応をしてもらえないか。」との質疑があり、地域課長から「民泊宿泊者のトラブルに関して、今後情報共有し、必要であれば管理者対策なども検討する。」との回答があった。</p>	
【閉会】	
会長から、「以上をもって協議会を終了する。」旨の総括があり会議を終了した。	